

パブリックコメントご意見

	意見者	意見の概要	市・社協の考え方	対応
1	個人	<p>意見(1) 包括的な観点から          みやま市の福祉のまちづくり計画は、誰もが健康で安心していきいきとして暮らせるまちづくりを目指した市民運動づくりを狙いとして、壮大な数次の地域福祉計画・活動計画としてスタートし、今期がその第2次計画となって居り、これからも更に継続されることになると思います。          数次の事業計画の場合、各期毎に活動目標や重点項目あるいは、重点活動・プロジェクト等を設定し、各期末には、事業実施に係る検証(評価、反省点、現状・課題等の解析)を行い、次期計画への資料とすることを繰り返すことで、改善を図り、前進させ、目標の達成あるいは目指すところへ近づけていく手法をとるべきと考えます。</p> <p>理由          1) 第1次計画と第2次計画の内容は概ね同じ内容又は近い内容になっており、変化が見られない。          2) 第1次計画に対し、①何を実行し②どのような評価をしたのか③どのような課題があるのか④これまでの活動や、やり方でよかったのかどうか等々…が見えないまま第2次計画もほぼ同じ内容、手法となっている。          3) みやま市の地域福祉活動の「独自性」が見えてこない。また何をやりたいのか、どんな取組をするのか等が伝わってこないし、これでは市民へ届かない。          もっと具体的な活動や取組を掲げるのが、活動する側は、指標にしやすい。評価する側も評価しやすい。</p> <p>補足意見          計画の中で福祉計画とは「さらに市民が街づくりに積極的に関わり、自らの地域は自分たちで考えていこうとする意識を大切にしながら、市民と行政が一体となって取り組んでいくことが求められています」とありますが、これは市民だけではなく、市民・社協・行政の三者に求められていると理解しているところでは。          しかしながら第1次計画を通して感じる場所は          ① 行政は多様なニーズに必要な制度やサービスを提供するところ          ② 地域福祉活動やまちづくり活動は、市民がやること…と、行政・市社協は思っているのではないかと考えたいような印象を受けています。</p> <p>理由として          ① 第1次計画発表後、説明を受けた後、幾多ある活動や様々な機械の中で行政や市社協からは、福祉計画に結び付けた呼びかけや指導等は一切なかった。          ② 活動を活発にする為の、仕組み作りや議論の場づくり等について提案しても反応がない。議論の場が少なすぎる。          ③ 活動している側から、機会ある時々に、意見、提案、苦情等々申し上げているが、話を聞くだけの一方通行で終わっている。(多数の活動者から同内容の意見を小職は伺っている)          結果として、地域福祉活動は「ジリ貧」状況にあると感じています。          結論として当方が思うところは、          1) 人と人、心と心をつなぎ、安心して心豊かに暮らせるまちづくりを推進するためには、市(行政)・社協・市民の三者が一丸となって取り組むことが必要。          計画では、市民の自主的活動を強く促しているが、市(行政)、社協と一緒にやることは書いていない。基本的な考え方として「市(行政)・社協・市民と一緒に取り組むことにしている」と宣言し、やる気・本気度をみせることが大切ではないか。          2) 計画(絵)を提示し旗を振るだけでは人は動かないことがはっきりしている。</p>	<p>「第2次みやま市地域福祉計画」のパブリックコメントを募集しましたところ、大変貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。この度いただきましたご意見は今後の地域福祉推進のために大いに参考とさせていただきます。          さて、いただきましたご意見は大きく          「意見〔1〕包括的な観点から」、          「意見〔2〕コンセプトに関して」          及び「意見〔3〕検証委員会」          の3項目に分けていただいております。          3項目全体に渡って、内容を          「①第1次計画の評価を含めた第2次計画策定の手法について」、          「②みやま市の独自性を踏まえた計画策定という点について」、          「③計画の具体性について」、          「④市(行政)・社協・市民の三者が一丸となって取り組むことが必要という点について」、          「⑤市(行政)・社協のリーダーシップ等について」、          「⑥検証委員会について」          の6点に整理して回答させていただきますのでご了承願います。          なお、この回答は「第2次みやま市地域福祉計画」と関連の深い「第2次みやま市地域福祉活動計画」(以下、両計画を併せて「第2次計画」)を策定したみやま市社会福祉協議会(社協)とも調整した上での回答です。よろしくお願ひします。</p> <p>まず「①第1次計画の評価を含めた第2次計画策定の手法について」です。          第1次計画が策定されるにあたり、地域福祉計画を策定する「地域福祉計画策定委員会」と、計画を推進する組織として「地域福祉計画協議会」を設置しました。また、社会福祉協議会においては、「地域福祉活動計画策定委員会」と「地域福祉活動計画推進協議会」が設置されています。          この協議会では年度ごとに計画進捗について議論いただいております。その結果と、市と社協がそれぞれ内部で整理した進捗状況を第2次計画素案作成のため策定委員会で論議いただいたところでは。具体的には第2次計画49ページ「(2)公民館など地域資源の利用促進」の「現状・課題」の2番目「・子育て支援の拠点となる施設の整備が必要となっておりますが、子育て支援の拠点となる施設の整備は進んでいません」と書いております。これは第1次計画での進捗が不十分だったものの例です。          このように第1次計画の評価等については、39ページ～75ページまでの「IV地域福祉計画」及び76ページ～103ページまでの「V地域福祉活動計画」の「現状・課題」にまとめております。また、併せて2800人の方への市民アンケートや4回の校区意見交換会及び福祉部門を担っていただいている団体へのヒアリングの結果等の市民のご意見も踏まえて第2次計画の素案となりました。以上のように第1次計画の評価と市民の意見は複数の方法で収集しておりますのでご理解をお願いします。          また、第2次計画の策定のために市民意見集約の過程で、第1次計画の進捗状況の提供が不十分であるとのご指摘をいただきました。これについては市(行政)・市社協ともに反省すべき点であると考えております。第2次計画につきましては年度末を目途に進捗報告をお示しする等の改善を検討してまいります。併せてご理解をお願いします。</p> <p>次に「②みやま市の独自性を踏まえた計画策定という点について」です。          ①でも回答させていただきましたが、第1次計画同様、第2次計画策定にあたっては市民アンケート、校区意見交換会及び団体ヒアリングを実施し、可能な限り市民意見の集約に努めた結果としてのものです。みやま市の地域福祉推進に必要なものが集約されていると考えております。ご理解をお願いします。</p>	<p>計画案どおり          ②今後の事業実施の参考とする</p>

1	個人	<p>地域福祉活動は市民による自主的活動だとしても、市民運動となる計画を動かし、流れを作るためには、まず、市（行政）・社協がリーダーシップをとって仕組みを作り、議論の場づくりをし、仕掛けていかないと計画は動かない。これは、市（行政）・社協の大きな役割の一つです。これらをやらないと、市が抱えている課題等も解消しないこととなります。精神を地域に根ざした「やる気」「情熱」「思う心」がないと出来ない仕事であると認識しています。</p> <p>3) 人づくり、人材育成は、活動があり、活動の中で、人は自ずと育っていくので人を如何に動かすか、活動を如何に進めていくかがポイントになります。</p> <p>人は、目標や目指すものを持たないと何をやってよいか解らない。活動計画の中に、具体的な取り組みを設定し、方向を定めれば、人は目標に向かって努力するもの。その過程で人は成長し、達成感を味わい、感動し、喜び楽しさを感じ、生甲斐へとつながっていくものと思う。</p> <p>市（行政）、社協は、その道筋をつける大きな役割を認識して頂きたい。</p>	<p>次に「③計画の具体性について」です。</p> <p>35ページに「（２）施策の体系」として基本理念から生まれる基本方針、主な施策及び主な施策の方向性を掲載しており、36ページ「みやま市地域福祉計画の主な施策の実施方針」及び37ページ・38ページ「（４）みやま市社会福祉協議会地域福祉活動計画の実施計画」に掲載しております。これらが第2次計画での具体的な事業と位置付けておりますのでご理解をお願いします。</p> <p>「④市（行政）・社協・市民の三者が一丸となって取り組むことが必要という点について」です。</p> <p>おっしゃるとおりだと考えます。</p> <p>32ページ「第1章 計画の基本的な考え方」の「（２）基本的な視点」の4行目～7行目までにありますように、現在の福祉課題を解決していくためには「自助」、「互助・共助」、「公助」の連携が不可欠です。主に「自助」、「互助・共助」を担われる市民、主に「互助・共助」を担う市社協そして主に「公助」を担う市（行政）の三者が一丸となって取り組む必要があります。この考えは第1次計画から一貫して変わっておりません。計画には反映されていると考えておりますのでご理解をお願いします。</p> <p>次に「⑤市（行政）・社協のリーダーシップ等について」です。</p> <p>市（行政）・社協がリーダーシップをとって仕組みを作り、議論の場づくりをし、仕掛けていくことが市（行政）・社協の大きな役割であること、また具体的な取り組みを設定し、方向を定める道筋をつけるのが市（行政）・社協の役目ということ等のご意見をいただいております。</p> <p>日ごろから地域福祉推進に全力で邁進してある方々からの市（行政）・市社協の対応が不十分とのご意見であると思います。①でも回答いたしました。年度末を目途に第2次計画の進捗状況をお示しする等の機会や、市社協と校区社協との議論の場を作るなど、第2次計画の推進が円滑に進むような仕組みづくりを検討してまいります。そのような活動をとおして皆さまのご理解とお力添えを得ながら、必要な場合には期待される役目を担えるよう努めてまいります。よろしく申し上げます。</p> <p>次に「⑥検証委員会について」です。</p> <p>現在、市においては計画の推進をする「地域福祉計画協議会」と社会福祉協議会では「地域福祉活動計画推進協議会」を設置しております。福祉団体から4人と学識経験者1人の5人で組織をしており、任期は2年でございます。今後はこの協議会で進捗の評価等の実施も検討していきたいと考えております。ご理解をお願いします。</p>	<p>計画案どおり ②今後の事業実施の参考とする</p>
---	----	--	--	----------------------------------

2	個人	<p>意見 [2] コンセプトに関して          状況 みやま市には、大きな課題と特徴がある。行動なくして対価なし。          1) みやま市の医療、介護、保健に係る費用は膨大なものになっている。          福岡県の一人当たりの医療費は全国の上位を、老人一人当たりの費用は全国トップを走って居り、みやま市もこれに類似しており、医療・介護・保健に係るインパクトは大きい。          みやま市は、この状況をデータで分析、解析を積み上げ、市民に語りかけ、指導も始まってきている。          2) 一方、校区社協の働きとしては、①サロン活動 ②見守り活動 の2本柱として活動を展開させているが、人口減少化、高齢化、核家族化が進み、活動そのものが疲弊してきている。それだけに「地域づくり・まちづくり」にも同時平行的に力を入れているが、問題・課題が山積している状況。          このままでは、これから先、益々進む超高齢化の社会を乗り越えることは難しいと推測される。ところ。          3) 他方、市（地域包括支援センター）では、人口減少化、少子化、高齢化が進む中で、これからの「地域づくり・まちづくり」の一環として『協議体』による話し合いの「場づくり」を模索し始めている。          その中では、やはり、「地域づくり・まちづくり」の話の中でも「健康づくり」の話から話が始まり、地域福祉活動の関係が底辺に有り、これ抜きでは成立しない。</p> <p>意見          そうであるならば、みやま市の地域福祉計画・活動計画では、市（行政）、社協、地域（市民）の三社が一体となって、もっと具体的に取り組みの目標を掲げ、体系的な活動の計画づくりであったり、更には、市（行政）、社協、市民の三者が共働で推進する取組み（複数あったが良い）を重点プロジェクトと位置づけするなどして、結果・成果が出せる施策・取組を組み立てて提示することで市民活動の具体的な方向性・目標を示すべきだと考えます。          このことが、市民を引っ張っていく原動力となり、市民を巻き込み、市民を自主的な活動へと導く事へ繋がってくると考えるところです。          みやま市には、分析・解析されている通り、現状では大きな課題と特徴があり、これから益々進んでいく超高齢化社会を見据えた独自性のある地域福祉計画・活動計画の戦略的アプローチが必要なのではないのでしょうか。（その為の数次の福祉計画・活動計画と考える）</p> <p>理由          1) 第1次計画・第2次計画の内容がほぼ同じでは、進展がない。          また、第一次計画の実施に於いて、何がどの様に実行されたのか評価されておらず不明の状況。          2) 第2次計画の福祉計画と活動計画の二つの内容を合わせて、福祉計画という印象を受ける。          3) 活動計画としては、「どの様な行動」「どの様な活動」を起し「何を指し」「何を目標に」「何を達成しよう」とするのか、方向性や取組み内容・活動内容等をもっと具体的に提示すべきではないか。          表現の例：・対策を検討します・広く呼びかけます・話し合いを活発に行います・図ります・連携を目指します・参加できる場をつくります・努めます・実施を目指します・推進します・参加を促進します・見直します・・・この類となっている。          本活動計画では、担当部署の「思い」や「決意」の形で提示してあるが、本来は、本計画書は、活動する者を活動へと誘導し巻き込んで、活動を促す手引き書や行動指針となるくらいの内容に仕上げるべきではないかと考えるところです。</p>	<p>計画案どおり          ②今後の事業実施の参考とする</p>
---	----	---	---

2	個人	<p>4) 現状は、これまでの流れの惰性で動いており、じり貧の状況と感じている。地域福祉活動は、市民が自主的に、自助・共助・互助をもって活動することを強調する内容になっているが、行政・社協が旗を振るだけでは、市民は動けず、行政、社協の指導力がないと、計画書だけでは市民は動けない。市民の自主的な活動を起こさせる為には、「良い計画」「良い仕組み」「強いリーダーシップによる仕掛け」が不可欠と考えます。</p> <p>補足意見  これまでの福祉活動（第1次）を通して感じていることは、種々あります。  言葉での言い訳はできるが、実態として課題が多く存在します。  現場をもっとよく見て、現実を知ることが大切。  例えば：  ①地域福祉活動（サロンやふれあいネット等）の実態把握や情報収集発信、「報・連・相」の仕組み・・・社協の福祉活動の情報基地としての課題  ②情報の発信・情報の収集・情報の共有の仕組みと指導力の課題  ・行政・社協からの情報の発信と地域への流れ・仕組み  ・地域からの情報発信と行政・社協への流れ・仕組み  ・課題解決への仕組み・・・  ③話し合いの場づくり・議論する場づくりと指導力の課題  ・地域での話し合い・グループでの話し合い・座談会をやってもその先がない・・・上部や横の組織には届かない  ・連絡会等の会議では事務連絡等が主で、議論すること可なり少ない  ・課題解決への仕組み・・・議論の場が少なすぎる  ④多々ある会合の中で、意見が出されてもその後の議論が無い、あるいは反応がなく終わってしまう。また、現在、地区別に集まって実施するWS（ワークショップ）は、お飾り程度にあるだけの状況ではないか。  その結果：  ・三者や他とのコミュニケ不足に因る地域の状況や課題等の情報は、地域から上・横には進まず、自分たちで出来ることだけで終り、三者・他による  ・人材も育たない。  ・これでは、市（行政）、社協の指導力は発揮できない  つまり、大切なことは、地域・現場の声を如何にして経営陣／運営陣に吸い上げて、施策に反映させ、市（行政）・社協・地域（市民）の三者が一体となって地域／市民の問題・課題等の解決・改善に向けた取り組みが出来るか・・・という「仕組み作り」と「強いリーダーシップ」が必要ということではないでしょうか。  このことがうまくいくと、チームや多職種交流会や連携、事例検討会や顔が見える交流会等々へと夢が広がってくると思う。  このことが、当たり前のことになっていかないと、地域福祉活動の運営・経営上、成果を出すことや結果を出していく為には、大変厳しい挑戦となると考えるところです。</p>	<p>計画案どおり  ②今後の事業実施の参考とする</p>
---	----	--	-----------------------------------

3	個人	<p>意見〔3〕検証委員会について  意見 現在、策定委員会はあるが検証委員会は設置されていないと認識していますが、上述のような状況を踏まえ、検証委員会の設置をされたほうが良いのではないかと考えます。</p> <p>理由  1) 数次の福祉計画を実行する過程で観察・検証することで、目標達成に向けて軌道修正であったり、次期福祉計画の策定に良い影響を与えることが期待できる。  次の策定委員会では、検証結果を踏まえ現状と課題を整理し、地域福祉の方向性や具体的な取組み・活動についてまとめることができる。</p> <p>2) 検証結果を、次期計画に反映させる仕組みを作ることで、  ①市民の参加によって、透明にすることで真剣な活動が期待できる  ②活発な議論の場づくりが期待できる  ③その結果、前向きな・発展的な活動や意見交流が期待できる  ④人財育成につながる</p> <p>以上、地域福祉活動をやって居る者の1人として、感じていること、思っていることを申し述べましたが、本意見を申し上げるに当たり、多くの活動仲間から同様の意見を預かっていることを申し添えておきます。</p>		<p>計画案どおり  ②今後の事業実施の参考とする</p>
---	----	--	--	-----------------------------------

- |                            |    |
|----------------------------|----|
| ①ご意見を踏まえて案の修正を検討するもの       | 0件 |
| ②今後の事業実施の参考とするもの           | 3件 |
| ③ご意見の趣旨や内容について、すでに反映しているもの | 0件 |
| ④その他                       | 0件 |